

## 平成26年度横浜市下水道事業会計予算

(総 則)

第1条 平成26年度横浜市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1) 水再生センター 11か所

年間総処理量 574,508,000 m<sup>3</sup>

1日平均処理量 1,574,000 m<sup>3</sup>

(2) ポンプ場 71か所

年間総揚水量 286,887,000 m<sup>3</sup>

1日平均揚水量 786,000 m<sup>3</sup>

(3) 水洗便所改造助成件数 125件

(4) 主な建設改良事業 管きよ、ポンプ場及び水再生センター等  
整備事業 33,400,396千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

### 収 入

第1款 下水道事業収益	134,126,480千円
第1項 営業収益	106,096,012千円
第2項 営業外収益	27,729,837千円
第3項 特別利益	300,631千円

支 出

第1款	下水道管理費	129,953,311千円
第1項	営業費用	102,960,682千円
第2項	営業外費用	18,728,629千円
第3項	特別損失	8,255,000千円
第4項	予備費	9,000千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額63,001,181千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填するものとする。）。

収 入

第1款	下水道事業資本的収入	71,065,101千円
第1項	資本的収入	71,065,101千円

支 出

第1款	下水道事業資本的支出	134,066,282千円
第1項	建設改良費	37,039,884千円
第2項	企業債償還金	97,005,086千円
第3項	投資	21,312千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
下水道整備工事	平成27年度から 平成28年度まで	11,000,000千円

下水道管きよ修繕応急復旧  
工事請負契約の締結に  
係る予算外義務負担

平成27年度

230,000千円

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(1) 起債の目的 下水道整備事業費及び元金支払に充てるため。

(2) 限度額 26,429,000千円

下水道整備事業費充当企業債 16,429,000千円

資本費平準化債 10,000,000千円

(3) 起債の方法 ア 市債証券の発行または普通貸借の方法による。

イ 起債の時期は平成26事業年度。ただし、その全部または一部を翌年度以後に繰り越し、起債することができる。

(4) 利率 年5.0%以内

(5) 償還の方法 ア 起債年度の翌年度から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし、本期間中、未償還額の範囲内において借り換えることができる。

イ 公的資金を借り入れる場合は、その融通条件による。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、20,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び  
営業外費用の間の流用。

(他会計からの補助金)

第9条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、  
2,760,437千円である。

(たな卸資産購入限度額)

第10条 たな卸資産の購入限度額は、3,000,000千円と定める。

平成26年2月14日提出

横浜市長 林 文子